

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

クライオバルーンアブレーション後に認めた医原性心房中隔欠損の2症例【症例報告】

[研究責任者]

江南厚生病院 臨床検査室 左右田昌彦

[研究の概要]

心房細動に対するカテーテル治療において心房中隔穿刺による医原性心房中隔欠損が発生する場合があります。医原性心房中隔欠損は自然閉鎖することが多いですが、一部の方で残存し心不全などの重篤な疾患を呈する場合があります。当院でクライオバルーンアブレーションによる医原性心房中隔欠損を認めた症例の検査方法や患者背景などを比較し、医原性心房中隔欠損が発生する要因や術後フォローにおけるエコー検査の注意点について考察していきます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2019年4月1日から2022年3月31日までの期間中に、当院にてクライオバルーンアブレーションを施行し、医原性心房中隔欠損を認めた方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、心房細動持続期間、左房容量、心機能評価、心房中隔欠損症の有無 等

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 臨床検査室 左右田昌彦

電話 0587-51-3333 FAX 0587-51-3337